

●さつま町災害時要援護者避難支援プランの作成

■災害時要援護者とは

災害発生時などにおいて、自らを守るために安全な場所に避難するなど、適切な防災行動をとることが困難な人々。

具体的には、ひとり暮らしや寝たきりなどの高齢者、要介護認定者、障害者、傷病者、妊産婦、乳幼児、外国人などが考えられます。

■災害時要援護者避難支援プランとは

町の防災対策のマスタープランである「さつま町地域防災計画」の中の災害時要援護者対策のうち、避難支援に係ることを具体化した計画書（プラン）であり、支援対象者の範囲、支援に係る自助・共助・公助の役割分担、関係機関などにおける支援体制について、地域の実情に応じ具体的に記載したものです。また、この計画書は、災害時要援護者支援全体に係る考え方と、避難行動要支援者ひとりひとりに対する個別計画で構成されます。

●災害時避難行動要支援者の登録と活用

■目的

「自らの身の安全は自ら守る」ことを防災の基本としながら、災害時において地域の支援を必要とする方に対し、町が避難行動要支援者個別支援計画を作成し、災害に備えた地域の協力体制の整備を図ることを目的とします。

■災害時避難行動要支援者とは

災害時に、在宅で心身が不自由な高齢者や障害者の方、家族の支援が受けられないひとり暮らしの高齢者など、自力での避難が難しく、支援を必要とする方です。

■災害時避難行動要支援者の登録と活用

登録を希望される本人又は家族などからの申し出により、登録台帳を作成し、平常時から民生委員、自主防災組織など情報共有し、支援活動に活用します。

■登録の対象者

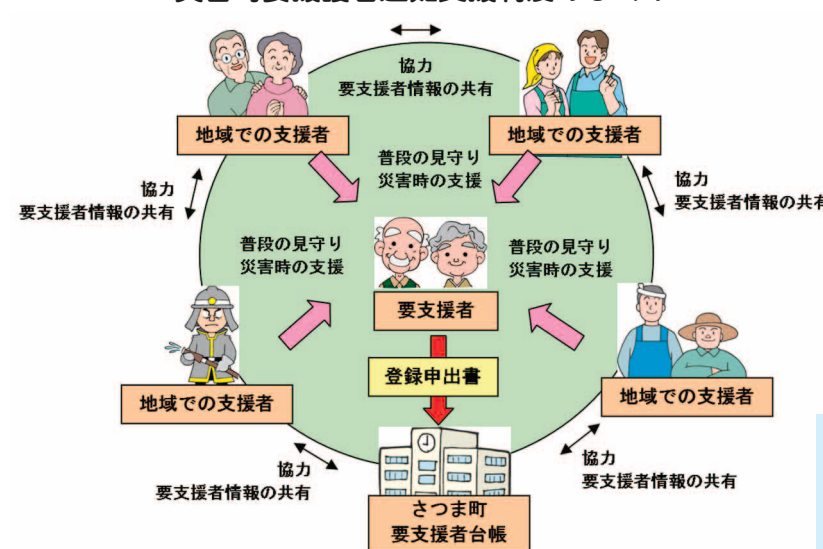
次のいずれかに該当し、災害時に自力避難が困難な方で、かつ支援を受けるために個人情報や民生委員、自主防災組織などに提供することを同意された方です。

ひとり暮らしの高齢者  
高齢者のみの世帯  
介護保険法における要介護認定の、要介護3以上の者  
身体障害者福祉法における身体障害者手帳の交付を受け、同法施行規則第5号障害程度等級表の1級又は2級に該当する者  
療育手帳制度における療育手帳の交付を受け、程度区分のAの判定を受けた者  
障害者自立支援法における自立支援医療費の支給認定を受けている精神障害者  
特定疾患治療研究事業の医療費助成認定を受けている難病患者  
前各号に準じる状態にある者  
町長が必要と認める者

■登録の手続き

避難行動要支援者登録申請書兼台帳（登録申請書）に支援に必要な個人情報（氏名、生年月日、性別、年齢、電話番号、住所及び要援護者内容など）を記載し、直接又は民生委員もしくは公民会長（自主防災組織）を通じて町長に提出する。

災害時要援護者避難支援制度のしくみ



■問い合わせ先 ☎ 53-1111  
総務課交通防災係 内線2215  
すこやか長寿課高齢者ふれあい係 内線2171

がんばれ 認定農業者!! シリーズ②④

さつま町永野

城戸大作 さん



城戸さんは、鉢物用のシクラメン5千鉢、ガーデン用のシクラメン1万本のほか、リーガースベゴニアやガーベラ、ゼラニウムなどの花々を栽培されています。

小さい頃から、花が好きで興味があったと話す城戸さんは、農業大学校園芸部の花き科でシクラメンの栽培を学び、時吉地区の東花園で実践的な研修を積んだ後、就農されました。

就農時は、花き栽培に必要なハウスや施設を導入するなど、ゼロからのスタートで、初めの頃は、病気やダニの対策に苦労する日々が続いたそうです。今年で就農して7年目。今では、色とりどりの花々が、鹿児島と宮崎の市場に出荷され、花屋の店頭に並びます。城戸さんが愛情込めて育てた花々は、花もちがよいと評判です。

城戸さんは「重油の高騰が続く中、コスト低減を図りながら、品質のよいものを栽培していきたい」と話されました。

川内川激特速報

さつま町内の、激特事業に関する進捗状況などについて、お知らせします。

1. 激特事業の状況と今後の予定について

現在、計画説明の同意を得られた地区から順次、用地調査などに着手しております。

用地調査などについては、虎居地区を含むさつま町内全13箇所中11箇所の用地調査などを完了しており、今年度は、用地取得のご相談（用地協議）を実施してまいります。

2. 激特事業工事箇所

- ・二渡地区（山崎大橋上流側 約600m）築堤（H20年3月末一部完成）
- ・推込分水路箇所においては、用地取得が完了した箇所から、樹木伐採などの準備工に着手しております。（H20年3月からH20年6月末まで）

樹木伐採完了箇所を対象に5月頃から埋蔵文化財調査を行う予定です。

工事期間中の通行など、ご迷惑をおかけしますがご理解とご協力をよろしくお願いします。

3. 宮之城地域川づくり検討会について

宮之城地域の激特事業において利活用及び景観・環境などについて設計に反映させる為、地域の皆様と共働して川づくり計画（案）を作り上げていきます。

「第4回宮之城地域川づくり住民部会」を5月24日（土）午後2時から虎居地区公民館にて開催します。内容は、第3回住民部会までの意見を集約した川づくり（案）の提示と案に対する意見の聴取です。

当検討会は、現在、皆様にお示ししている計画線形などを変更したりするものではなく、整備に併せた利用のしやすさや保全すべき環境及び景観への配慮方策などについて検討していくものです。

今後とも河川事業におけるご理解とご協力をよろしくお願いします。

【問い合わせ】 国土交通省 川内川河川事務所 調査課 課長 竹下真治 ☎(0996) 22-3271

県実施区間激特事業の状況と今後の予定

夜星川につきましては、用地提供のご協力を得まして、工事に着手することができました。

平成19年度は、国道から下流方向に向けて、既設の堤防高まで築堤工事を実施したところです。

本年度は、国道267号にかかる夜星川橋架け替えのための迂回路工事および樋管工事に着手する計画です。工事期間中は、ご迷惑をおかけしますが、皆様のご理解とご協力をお願いします。

【問い合わせ】 鹿児島県北薩地域振興局 河川港湾課 ☎0996-23-5151 内線289